

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課長 細馬 康二	電話番号	0852-22-5311
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	浜田地域水産業構造改革推進事業
目的	(1) 対象 沖合底びき網漁業者ならびにその構造改革を支援する浜田市 (2) 意図 水産卸売業者や水産加工業者に魚を供給し、水産業を下支えしている沖合底びき網漁業が抱える共通課題の解決
事業概要	沖合底びき網漁業の構造改革を支援する浜田市を支援する。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
				目標値		1.00	1.00	2.00	
実績値	0.00	1.00	1.00	3.00					
			達成率		100.00	100.00	150.00		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	53,684	105,000
うち一般財源 (千円)	53,684	105,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

H19年に浜田地域水産業構造改革推進プロジェクト協議会を立ち上げ、浜田地域の基幹漁業の構造改革に着手し、H23年に沖底のリシップを柱とした改革計画書を中央協議会に提出、その認定を受け、H24年にリシップ工事をした1ヶ統がH25年4月から用船事業を開始した。また、H26年には新たに2ヶ統がリシップ工事を開始した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・H25年4月から用船事業を開始した経営体は、2カ年の事業期間が終了したので、取組項目について検証を行い、協議会に報告した。
- ・取組項目については一部を除き、計画目標値をクリアした。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・計画どおりの修繕費の削減、稼働率の向上等が行えるか、また、リシップ工事に合わせて導入した冷海水装置、魚倉保冷装置による漁獲物の鮮度向上が販売価格にどの程度反映されるか、2カ年の取組では不明な点が多い。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・リシップによる漁船の延命工事は例がない。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・2カ年の事業期間終了後も引き続き、取組項目を分析する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・関係機関が協力して、リシップを行った漁業経営体に支援を行うとともに、水産技術センターによる漁獲物鮮度向上の科学的評価、省人化漁具、船上作業の効率化、有効な資源管理手法の開発を行う。
- ・残りの2ヶ統について、平成27年度にリシップを実施するよう協議する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）